



# ききょう便り

平成23年 新年号（第24号）



光陰矢の如し

新春の谷川岳

理事長 松井 文男

「光陰矢の如く速かなり、されど身命は露の如くはかなし」と諺にありますが、誠に月日の経つのは早いものです。特に高齢になると時の経つのは水の流るる早瀬の如く過ぎ去って行きます。

私の母は、ききょうの里でお世話になり96才の生涯を閉じましたが、母も生きてきた96年を「一瞬」と表現したことが思い出されます。今年も新しい年を迎え、例年のことながら「今年こそ平穏な年を送りたいもの」と思っております。

それにつけても最近の世情は、余りにも命のはかなさを知らしめるような事件が多すぎると思うのです。それも殆どが人の為せる事件が大変多く、何か世情に不安を与えているようです。政治の不安、国際情勢の不安、経済情勢の不安…と数えれば際限のない不安定な昨年だったと思います。願わくは、今年こそホッとできる年を送りたいものと思っております。

さて、この「ききょうの里」も種々変革を重ね、また曲折を経ながらも多くの方々のご支援と職員の皆さんの努力によって無事経営されて参りました。

しかし、介護職員の待遇改善もまだまだ考慮しなくてはいけないと思います。離職率の高いのもこの辺の対応が影響しているようです。若い男性職員など、結婚を考えると不安になるようです。昨年、特例措置で多少の改善はありましたが、全企業平均から見れば乗り遅れていると思います。団塊の世代が待機者になったときは、魅力ある職場になっていないと大変なことになってしまいます。

太田のケアハウスの入所者の介護作文入選作に載っていた短歌に「柔らかき 陽に溶けし霜柱 人の終わりも かくとありたし」とありました。

入所者に優しい施設でありたいものと思っております。



## 社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里  
ききょうの里短期入所生活介護事業所  
ききょうデイサービスセンター  
ききょうの里居宅介護支援事業所  
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷  
ききょうヘルパーステーション

〒 378-0002

群馬県沼田市横塚町 957 番地 2

TEL 0278 - 23 - 8831

FAX 0278 - 23 - 8832

〒 378-0061

群馬県沼田市岡谷町 687 番地

TEL 0278 - 23 - 8861

FAX 0278 - 23 - 8852

発行責任者 諏訪 光生

# フォトアルバム(行事紹介)



年末には鍋を囲んで忘年会！

百寿のお祝い♪  
めでたく 99 才の誕生日を迎えられました。



クリスマス誕生会



クリスマス誕生会では、職員による紙芝居と人形劇を披露しました。



繭玉飾り  
小正月に飾るお飾りを作りました。



年末に、岳友会の皆様のご厚意により、そば打ちの実演が行われできたての美味しいそばをご馳走になりました。



クリスマス会  
サンタクロースと一緒に満面の笑みです！

## ★ボランティア★



沼田東中学校 様



## ♪慰問紹介♪



ライヤ-演奏 氏家 様



太極拳 東風の会 様



## ◆◆ききょうの里合同作品展◆◆

11月21日から27日まで作品展が開催されました。日頃、個別レク等で取り組まれた作品が多数展示されました。



### 高齢者福祉施設職員としての自覚

老人ホームに代表される介護サービスには、実にさまざまなものがあります。有料で利用できるものもあれば、無料で相談できるサービス等もあります。また、高級さを「ウリ」にした施設や、条件をクリアした特別な施設等もあります。このような老人ホームの存在意義の一つには、人間の尊厳を守るというものがあると考えます。人間の尊厳というと、なんだか特別で難しいもののように感じますが、それは人間が人間らしく生きる為の権利であり、憲法にはこの権利が明記されており、人間が人間らしく生きる権利、人間らしい生活、最低限度の保証が、国によって守られている訳です。その為、老人ホームの利用は、経済的な問題などを抱えた人でも、国が利用の必要性を認めた人は、利用することができるように配慮されています。

いろいろな考え方がありますが、人間の尊厳を守るということの為に確立されたものに介護学があります。それを勉強した国家資格として介護福祉士が挙げられます。例えば、人が生きて行く上で絶対に欠かせない食事について考えてみます。高齢になるにつれて、歯や胃等の身体的な機能の問題や、病気等によって食べられるものが制限されるというケースがあります。また、自分の力で食べ物を口まで運べなかったり、体を起こすことが難しかったりという状況も出てきます。そのような場合、どのように食事の介助を行うのか、本人がどのような介助を望んでいるのか、それが人間の尊厳に関わる問題であり、どのように支援するのが正しいのかを知ることが介護学といえます。

老人ホームは、人間が人間らしい生活を送るために存在する施設です。老人ホームのみならず介護に関わる者は、介護を必要としている人が常に年長者であって、敬意を払うべき存在であることを忘れてはいけません。生活相談員（特別養護老人ホーム）



### アサーションとは…

12月に『自分も相手も大切にするコミュニケーション・アサーション入門』という研修に参加しました。

より良いサービスを提供するためには、利用者様やご家族の皆様とのコミュニケーションは必要不可欠です。

アサーションとは、何気ない言葉や会話をよりスムーズに、その言いたいことや気持ちを自分も相手も尊重しながら、伝えるコミュニケーションのことを言います。相手のプライバシーを守りつつ、自分も相手も褒めながら練習していく事がポイントだそうです。例えば言えないことを言う練習をする、わかりやすく言うてみるというような練習です。困った時には困ったと言える、自分から助けを求める事が出来る事が大事なのです。

でもこのアサーションも万能薬ではなく、アサーションしないこと（言わないこと）を選んでも良いのです。

つい自分の気持ちを抑えがちですが、お互いを大切に思うコミュニケーションを心掛け、その人の言動に隠された意味を感じ取れる人になりたいと思います。

(ヘルパーステーション)



### 「ご存じですか？地域の民生委員・児童委員」

地域福祉の身近な相談役として、民生委員・児童委員（以下 民生児童委員）さんがいます。



民生児童委員は、厚生労働大臣の委嘱を受け、ひとり暮らしの高齢者等に対する援護活動や相談・助言活動など、社会奉仕の精神をもって地域社会の福祉向上に向けたさまざまな取り組みを行っています。

民生児童委員は、「住民の立場に立った相談・支援者」であり、現在、約22万9,000人（うち、主任児童委員は約2万700人）がそれぞれの地域において高齢者の相談や見守り、児童虐待の防止・早期発見のほか、在宅サービスの提供等も行っています。

住民の生活や価値観の多様化とともに、地域社会のあり方も大きく変わっています。民生児童委員は、地域に暮らす方々の良き相談相手であるばかりでなく、高齢者の孤独死や児童虐待、配偶者等からの暴力（ドメスティックバイオレンス）といった新しい社会的課題に対して地域住民や社会福祉協議会等と連携を図りながらその解決に向けた取り組みの中心的な役割を果たしています。

しかし、民生児童委員の職務は広範囲に渡っているため、現在ではなり手不足だそうです。

昨年12月に、民生児童委員の改選が行われました。今年も、地域の民生児童委員さんと連携を図りながら地域福祉向上のため、新たな気持ちで頑張っていきたいと思えます。本年も宜しくお願いいたします。

在宅介護支援センターききょう 23-8816（金子）

### ホットな話題

以前からの念願が叶い、「24時間テレビ」の福祉車両の贈呈が決定しました。

12月10日、新橋にある日本テレビタワーにおいて「福祉車両贈呈式」が行われ、佐藤渡理事が出席し、目録をいただきました。

納車は春頃になる予定ですが、全国の皆様から寄せられた募金をもとに贈られた車輛を大切に、送迎や外出行事等に活用させていただきたいと思えます。（総務）



## 職員紹介

### \*\*この職に就いて\*\*

私がききょうの里に勤務して、今年の3月で3年が経とうとしています。

勤務し始めた頃は「私は利用者様に喜んでいただける様な介護が出来ているのだろうか」「他の先輩方の足を引っ張ってしまっているのではないか」と考えてしまった時期もありました。しかし、利用者様の笑顔を見ることが出来た時や、「ありがとう」の言葉をいただくことが出来た時は、とても嬉しく、また更に頑張っていこうという気持ちになることが出来ました。そして、同じ現場で働いている先輩方が優しくアドバイスして下さいこともあり、少しずつですが成長出来てきた様に思います。

私がこの仕事に就き、慣れずにいた頃、ある利用者様がこんなことを話して下さいました。「早く仕事に慣れることももちろん大切だけど、慣れてくるとどうしても初めの頃の気持ちを忘れがちになってしまうからね。初めの頃の気持ちを大切にしながら、『目配り・気配り・心配り』が出来る様、頑張ってください。愛情を持って相手に接することで、いつかそれが自分に返ってくるからね」と、とてもありがたい言葉をかけて下さいました。とても嬉しく、また、更に努力していかなければならないと感じた時でした。3年経つ今もその時の気持ちは忘れていません。

これからも、利用者様ときちんと向き合い、「こうしてほしい」と訴えることが出来ない利用者様にも目を向け、一人ひとりに合った援助が出来る様努力していきたいと思います。そして、利用者様の笑顔や「ありがとう」の言葉に感謝しながら、日々の介護にあたっていきたいと思います。



介護職員  
阿部 千秋

## ケアマネ

### 一口メモ

「犯人はお前だ!？」…の巻 (その壱)

私は迷探偵御難です。

最近、盗難事件が多発していて大忙しです。認知症と呼ばれる方の周辺で特に多いんです。戦後のドサクサや途上国で見られるような置き引きとは違う、「ないんだけど!」(えっウッソー)「どこやったんだい!」(アンタが、でしょー、ッター)などという会話が聞こえてくる周辺の「盗難」です。

そうなんです。大抵は本人が仕舞い忘れているか、「あったかもしれない」大金なんです。本人にとっては大切な。大事だからこそ仕舞う。どこに仕舞ったか忘れる。→「ないんだけど!」

若い人とは違うらしい「こないだ」という名の十~三十有余年。→(こないだはあったんだけど)「どこやったんだい!」…本人にとっては今でも事実現実。家族にとっては昔日幻日。

しかも「もっとも身近で一番世話してくれる人が犯人にされる」という法則がありますから…!

不安だから頼りたい。頼みの綱のお母さん(嫁さん)。なんでも知っている。それを私が仕舞い忘れただなんて。そうか、お母さんが盗ったのか。まあ世も末だ。お迎えが近いのかも。そうそう最近、道理で妙に優しいと思った。犯人はやっぱりお前だ!？って。

世話する側にとっては生傷に塩、たまりません。人の気持ちって難しいですね。時々、ケアマネにこんな気持、切ない思いを教えてやってください。



## ☆☆今後の予定☆☆

### ☆ききょうデイサービスセンター

- 2月 焼きうどんパーティー(2~4日)  
映画鑑賞会(15~17日)
- 3月 ひな祭り誕生会(上旬)  
手作りおやつ・桜餅(中旬)
- 4月 お花見ドライブ(中旬)



### ☆ききょうの里(従来型) ☆ユニット型

- 2月 節分・豆まき(6日)
- 3月 ひな祭り(6日)
- 4月 お花見(中旬)

### ☆ききょうデイサービスセンター岡谷

- 2月 節分(3日)  
手打ちうどん作り
- 3月 ひな祭り(上旬)
- 4月 お花見(中旬)



## ◇◇編集後記◇◇

寒さも一段と厳しくなり、感染症が心配される季節になりましたが、ききょうの里では穏やかに新年を迎えることが出来ました。

今年の4月で、ききょうの里は開設20周年を迎えます。

この節目の年が、一層充実した一年となるよう、職員一同努力して参りますので、本年もよろしくお願いたします。

